

■授業の目的及び到達目標

技術・家庭科、技術分野の教育課程、指導内容・方法等について法令、学習指導要領、各種報告書、教育研究等を通して理解するとともに、教材作成・開発、事例研究等を通して実践的な知識・技術の習得と授業における実践力の育成を図る。技術分野の指導のうち、材料と加工に関する技術、エネルギー変換に関する技術について、指導計画及び教材を作成し、それに基づいて授業を実践できる力を習得することを到達目標とする。

■授業計画

- 1 技術教育の意義
一般教育としての技術教育と職業教育としての技術教育の共通点と類似点を解説し、技術教育の意義や重要性について認識させる。
- 2 技術教育の現状と課題
諸外国の技術教育と比較しながら、日本における普通教育としての技術教育の現状と課題について解説する。
- 3 技術教育の変遷
学習指導要領における技術・家庭科の変遷を解説し、社会の変化に伴い、技術教育の理念、教育課程、指導内容・方法がどのように変化しているかを検討する。
- 4 技術・家庭科の教育課程
技術・家庭科の教育課程について概観し、学習指導要領の目標、内容、内容の取扱いについて解説する。
- 5 材料と加工に関する技術 1
「材料と加工に関する技術」の指導内容・方法について解説する。「材料と加工に関する技術」の題材のアイデアと指導計画を考察する。
- 6 材料と加工に関する技術 2
「材料と加工に関する技術」に関して作成した題材のアイデアと指導計画について研究協議し、相互評価及びフィードバックとして講評を行う。
- 7 キャビネット図と等角図 1
キャビネット図と等角図に関する指導内容について解説し、指導に必要な教材について検討する。
- 8 キャビネット図と等角図 2
キャビネット図と等角図について理解させるための効果的な教材を検討する。
- 9 第三角法による図面作成
第三角法に関する指導内容について解説し、指導に必要な教材について検討する。
- 10 プラスチック工作の実際
プラスチック工作に必要な加工技術、工具の使用方法等について習得する。
- 11 木材加工の実際
木材加工に必要な加工技術、工具の使用方法等について習得する。
- 12 エネルギーの利用 1
エネルギーの利用に関する指導内容について解説し、指導に必要な教材について検討する。
- 13 エネルギーの利用 2
発電に関して選択した課題について調査する。また、電子黒板等の効果的な活用方法について検討する。
- 14 エネルギーの利用 3
発電に関して調査したことについて、電子黒板等を用いて発表する。調査内容、発表技術等について、相互評価及びフィードバックとして講評を行う。
- 15 学修のまとめ
学修のまとめとして、論述形式の試験を行い、フィードバックとして解説する。

■授業の方法

毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。実習、教材作成、演習、研究協議など体験的な学習を多く取り入れ、実践的な学びを重視する。

■予習・復習

- ・復習として、教材や指導計画作成の課題を行い、授業で発表すること。
- ・予習として、教材及び指導計画の構想を考えること。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

課題の提出状況から授業への取組を評価する。論述形式の試験を行い、到達度を評価する。試験 60%、学修への取組状況（課題の達成状況等）40%

■教科書・参考書

参考書：文部科学省「中学校学習指導要領解説－技術・家庭編－」を使用する。

■関連する科目

「技術科教育法Ⅰ」を履修していることが望ましい。「技術科教育法Ⅲ・Ⅳ」、「教育実習（事前・事後指導）」及び「教育実習Ⅰ・Ⅱ」の履修につなげていく。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、東京都公立高等学校に37年間勤務し、進路指導・生活指導・学校改革・研究活動に関する分野に研究実績を積んできており、それを本科目の指導に生かしていく。